

平成27年度県営病院事業決算概要

- 1 総括（平成27年度の主な取組等）
- (1) 病院事業管理者の権限強化と経営責任の明確化
- 交付金制度の継続（第1期H18～H22、第2期H23～H27、第3期H28～H32）
〈中期的なビジョンをもった経営が可能になった。〉
 - 職員定数について、鳥取県職員定数条例から分離して新たな条例を設定（H18）
〈条例定数 H17(制定前):738人、H26:1,154人、H27:1,192人、H28:1,226人〉
- (2) 県立病院としての医療水準の維持・向上の取組
- 【中央病院】
- 中央病院建替整備の着実な推進
 - ・中央病院建替整備基本設計の完了(H27.7)
 - ・中央病院建替整備実施設計の完了(H28.5)、工事発注に向け手続中
 - ・埋蔵文化財発掘調査の実施(H28.9完了予定)
 - ・駐車場拡張工事の完了(H27.10)
 - ※431床から518床に増床した新病院の平成30年秋稼働に向け、事業を推進
- 【厚生病院】
- 病室の適切な療養環境の改善整備工事の完成(2工区:H27.6、3工区:H27.11)
(空調用ファンコイルユニットの更新、医療ガスアウトレットの増設)
 - 狭隘化が著しい厨房の大改修工事の実施(※予算繰越を行い、H28.8完成予定)
 - 大型医療機器の整備(160列CT(H23)、リニアック装置(H25)、デジタルマンモグラフィ(H26))
 - 検査機器のFMS(※)方式による運営(H27.4～)
 - ※業者から検査機器、試薬の提供を受け、病院は職員、場所を提供して検査を実施
- (3) 人材養成
- 臨床研修医の受入(中央:18人)
 - 看護教員養成研修派遣(中央1人)、認定看護師資格取得(中央13人、厚生9人)
- (4) 人材確保
- 医師確保
 - (中央) 新病院開設へ向け、計画的に医師を増員
(H25:81人からH27:89人と8人増員(神経内科、心臓外科等を増員))
 - (厚生) 小児科常勤医5人体制(H25～)、産婦人科常勤医4人体制(H27～)維持
※H28～麻酔科常勤医の1人増員(2人から3人体制へ)
 - 薬剤師確保
 - ・大学訪問の実施、薬学生サマーセミナーへの参加
 - ・採用試験の見直し(実施主体:人事委員会→病院局、試験科目数の軽減)
- (5) 医療に専念できる体制の整備
- 院内保育所
 - (中央) 定員50人、24時間保育は週2回実施
 - (厚生) 定員25人、24時間保育は随時調整
- (6) 経営健全化
- DPCの導入(中央:H20.4～・H26～Ⅱ群病院に指定、厚生:H21.4～)
 - 未収金対策の推進
 - ・弁護士法人への債権回収委託
 - ・休日の医療費計算の実施(中央:H26.3～、厚生:H26.4～(平日夜間含む))
 - ・未収金徴収担当の非常勤職員を増員(中央:H26.4～)
 - ・債権管理事務取扱要領の改正、債権分類基準の作成(H26～)

2 県立病院経営状況

総括事項

- 病院事業は6年連続で黒字計上
- 經常損益では両病院とも黒字、純損益では厚生病院が赤字を計上
(平成26年度の会計基準の見直しによる退職給付引当金の計上によるもの)
(単位:百万円)

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
患者数	入院(1日平均)	635人	633人	645人	615人	636人
	外来(1日平均)	1,260人	1,267人	1,284人	1,283人	1,292人
診療単価	入院	51,096円	53,921円	54,715円	56,216円	57,742円
	外来	11,674円	12,144円	12,833円	13,831円	14,568円
医業収益(1)		15,949	16,715	17,389	17,421	18,479
医業費用(2)		16,442	16,746	17,165	18,127	18,805
医業損益((3)=(1)-(2))		△493	△31	224	△706	△326
医業外収益(4)		1,850	1,963	1,948	2,945	2,655
うち、一般会計繰入		1,618	1,609	1,590	1,596	1,584
医業外費用(5)		649	638	709	841	874
經常損益((6)=(3)+(4)-(5))		708	1,294	1,463	1,398	1,455
特別利益(7)		38	18	43	60	129
特別損失(8)		130	35	57	1,171	702
うち、退職給付費		—	—	—	674	674
純損益((9)=(6)+(7)-(8))		616	1,277	1,449	287	882
その他未処分利益剰余金変動額		—	—	—	1,569	—
累積欠損金		△12,600	△11,323	△9,874	△8,018	△6,346
資本剰余金の処分		—	—	—	790	1
処分後の累積欠損金		—	—	—	△7,228	△6,345

中央病院の決算概要

1 決算の特徴

(単位：百万円)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
延べ入院患者数	134,587人	137,179人	141,025人	138,082人	140,588人
(1日平均)	(368)人	(376)人	(386)人	(378)人	(384)人
(平均在院日数(一般病床))	(14.2)日	(14.1)日	(14.1)日	(14.5)日	(13.1)日
(病床利用率(一般病床))	(87.8)%	(89.8)%	(92.4)%	(90.5)%	(91.8)%
延外来患者数	170,237人	174,188人	181,086人	187,973人	187,140人
(1日平均)	(698)人	(711)人	(742)人	(770)人	(770)人
(紹介率)	(59.5)%	(57.8)%	(60.8)%	(60.5)%	(69.0)%
(院外処方率)	(86.6)%	(86.4)%	(87.3)%	(90.0)%	(89.0)%
入院診療単価	56,002円	59,248円	60,538円	62,093円	64,205円
外来診療単価	11,835円	12,508円	13,320円	14,443円	15,355円
1 医業収益	9,886	10,628	11,279	11,606	12,199
2 医業費用	10,058	10,506	10,917	11,620	12,129
うち、退職給与金	475	550	550	198	384
(勤続20年以上の退職者数)	(12)人	(10)人	(14)人	(8)人	(9)人
3 医業損益(1-2)	▲172	122	362	▲14	70
4 医業外収益	1,146	1,243	1,229	1,816	1,625
うち、一般会計繰入	1,001	996	995	994	993
5 医業外費用	345	331	389	483	515
6 経常損益(3+4-5)	629	1,034	1,202	1,319	1,180
7 特別利益	18	13	17	58	127
8 特別損失	99	24	33	648	373
うち、退職給付費	—	—	—	353	353
9 純損益(6+7-8)	548	1,023	1,186	729	934
10 その他未処分利益剰余金変動額	—	—	—	1,215	—
11 累積欠損金	▲7,338	▲6,315	▲5,129	▲3,185	▲2,021
12 資本剰余金の処分	—	—	—	230	1
13 処分後の累積欠損金	—	—	—	▲2,955	▲2,020
医業収益/医業費用	98.3%	101.2%	103.3%	99.9%	100.6%
経常収益/経常費用	106.0%	109.5%	110.6%	110.9%	109.3%
給与費/医業収益	53.1%	51.2%	48.8%	46.6%	47.4%
材料費/医業収益	27.1%	27.6%	27.5%	28.0%	29.2%
減価償却/医業収益	4.4%	3.8%	3.0%	6.2%	5.6%
他会計繰入計/経常収益	9.1%	8.4%	8.0%	7.4%	7.2%

注1) 金額は、病院統括管理費に係る医業外収益、医業費用、医業外費用及び特別損失を各病院の一般病床比率により配分後の額である。

注2) 「その他未処分利益剰余金変動額」は、みなし償却制度の廃止に伴う移行処理による資本剰余金から振り替えた未処分利益剰余金の額である。

注3) 「資本剰余金の処分」は、議会の議決を経て行う(予定の)ものである。

厚生病院の決算概要

1 決算の特徴

(単位：百万円)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
延べ入院患者数	97,854人	93,887人	94,281人	86,395人	92,213人
(1日平均)	(267)人	(257)人	(258)人	(237)人	(252)人
(平均在院日数(一般病床))	(14.4)日	(13.7)日	(14.4)日	(14.6)日	(14.8)日
(病床利用率(一般病床))	(89.1)%	(85.7)%	(86.1)%	(78.9)%	(84.0)%
延外来患者数	137,174人	136,220人	132,285人	125,095人	126,821人
(1日平均)	(562)人	(556)人	(542)人	(513)人	(522)人
(紹介率)	-	-	(30.6)%	(32.7)%	(34.8)%
(院外処方率)	(79.4)%	(77.7)%	(78.2)%	(78.5)%	(79.0)%
入院診療単価	44,348円	46,139円	46,005円	46,823円	47,889円
外来診療単価	11,473円	11,680円	12,166円	12,911円	13,406円
1 医業収益	6,063	6,087	6,110	5,815	6,280
2 医業費用	6,384	6,240	6,248	6,507	6,676
うち、退職給与金	199	169	133	56	77
(勤続20年以上の退職者数)	(9)人	(6)人	(7)人	(0)人	(3)人
3 医業損益(1-2)	▲ 321	▲ 153	▲ 138	▲ 692	▲ 396
4 医業外収益	704	720	719	1,129	1,030
うち、一般会計繰入	617	613	595	602	591
5 医業外費用	304	307	320	358	359
6 経常損益(3+4-5)	79	260	261	79	275
7 特別利益	20	5	26	2	2
8 特別損失	31	11	24	523	329
うち、退職給付費	-	-	-	321	321
9 純損益(6+7-8)	68	254	263	▲ 442	▲ 52
10 その他未処分利益剰余金変動額	-	-	-	354	-
11 累積欠損金	▲ 5,262	▲ 5,008	▲ 4,745	▲ 4,833	▲ 4,325
12 資本剰余金の処分	-	-	-	560	-
13 処分後の累積欠損金	-	-	-	▲ 4,273	▲ 4,325
医業収益/医業費用	95.0%	97.6%	97.8%	89.4%	94.1%
経常収益/経常費用	101.2%	104.0%	104.0%	101.2%	103.9%
給与費/医業収益	52.5%	51.8%	51.8%	55.1%	52.8%
材料費/医業収益	27.2%	25.9%	25.9%	24.6%	22.5%
減価償却/医業収益	5.1%	4.4%	4.4%	10.7%	9.9%
他会計繰入計/経常収益	9.1%	9.0%	8.7%	8.7%	8.1%

注1) 金額は、病院統括管理費に係る医業外収益、医業費用、医業外費用及び特別損失を各病院の一般病床比率により配分後の額である。

注2) 「その他未処分利益剰余金変動額」は、みなし償却制度の廃止に伴う移行処理による資本剰余金から振り替えた未処分利益剰余金の額である。

注3) 「資本剰余金の処分」は、議会の議決を経て行う(予定の)ものである。

